

茶屋町地区社協だより

第4号
茶屋町地区
社会福祉協議会
広報担当 佐川慶三
☎428-2417

茶屋町地区社会福祉協議会も、早いもので4年目の活動となりました。これまでの3年間、高齢者や子育て世代の課題等について地道な取組を行ってまいりました。今年は特に独居高齢者の福祉活動を強力に推進していきます。

これからも地区社協の活動にご理解とご協力をお願いするとともに、新しい方の積極的なご参加をお待ちしております。

茶屋町地区社会福祉協議会会長 古原 重臣

健康まつり 福祉講演会「糖尿病と認知症の危険な関係」

講師 藤戸クリニック理事長 秋山正史 氏



高齢福祉部会では、平成29年10月22日(日)に「健康まつり 福祉講演会」を茶屋町公民館で開催しました。藤戸クリニック理事長の秋山正史氏を講師に招き、「糖尿病と認知症の危険な関係」と題し講演していただきました。当日は、台風の影響で荒れた天気でしたが、25名の方が参加され熱心にお話を聴かれました。

地区社協が実施の緊急医療情報キット【命のバトン】ってご存知ですか？

緊急事態発生

「久しぶりに、友人宅を訪ねた際、その一人暮らしの高齢の友人が自宅で倒れているのに遭遇したとしたら」
救急車を呼んだけど、さて保険証は？
ご家族への連絡先は？
どこの病院がかかりつけ？



医療情報を記入した用紙をプラスチックの容器に入れて持ち出す。

万一に備えて「命のバトン」を

茶屋町地区社協では、上記のような緊急事態に備えて、75歳以上の一人暮らしの方を対象に、必要な医療情報を記入した【命のバトン】を自宅の冷蔵庫の中に保管しておく事業を開始しています。【命のバトン】は、倉敷市内でも児島地区全域、天城学区などですでに実施しており、倉敷市内救急隊も周知の事業です。もちろん、倉敷市行政も実施を推奨しています。

今後、茶屋町地区においても、独居や老老世帯の増加が見込まれます。一人暮らしの方の安心・安全のため、【命のバトン】の推進をお願いいたします。この取組により、地域での見守り・支え合いの機運も一層高まることと思います。



【命のバトン】は、冷蔵庫の中に入れておきます。

【命のバトン】は、民生委員または地区社協役員にご連絡ください。



児童見守り隊の活動

子育て支援部会では、防犯・交通安全のために、35名の児童見守り隊員が登下校時の見守りを行っています。

4月からは、新たに、18名の方が見守り隊に加わります。



川島博さんが小学校通学路において、下校時を中心に防犯パトロールを行っています。



児童の「地域安全マップづくり」に同行

平成29年7月6日(木)、茶屋町小学校3年生の児童による「地域安全マップづくり」の校外活動に同行し、移動時の安全指導、見守りやマップ作成の助言を行いました。



「ちびっ子ミンキ祭」は台風のため中止

住民同士の交流活動「ちびっ子ミンキ祭」は、平成29年9月16日(土)に磯崎眠亀記念館で、昨年同様の「グランドゴルフ体験」「い草織り機体験」等を通して家族間、世代を超えた交流を目指し計画しましたが、台風18号の影響により中止しました。なお、事前に購入準備した物品のうち、一部を他の事業(福祉講演会「健康まつり」、ふれあいクリスマス)に使用しました。

歳末たすけあい活動



ふれあいクリスマス

平成29年12月2日(土)、備南ふれあい会館において、縁日形式で「射的」「輪投げ」等、また、くらしき移住定住推進室「移住カフェ」(どこから来たのMAP)を加え、8つのブースと「クリスマスコンサート」等で親子ともに楽しい時間を過ごしました。170名の方が参加されました。



独居高齢者配食事業「ぼたもち」の配食

平成30年3月16日(金)、民生委員が、春のお彼岸にあわせ、139名の独居高齢者のお宅を訪問し、喜んでいただきました。

小地域ケア会議「茶屋町ケア会議」の開催

高齢福祉部会では、小地域ケア会議を隔月に開催し、地域の様々な高齢者を取り巻く課題等について協議しました。

ふれあいサロンの推進

高齢者支援センターの協力により、7月から「サロンうらら」(如蘭社)をスタートしました。チラシを作成し、近隣の方に参加を呼びかけました。毎月第2木曜に開催しています。



「茶屋町ケア会議」の様子

「安全運転」を呼びかけました

平成29年4月13日(木)、山陽マルナカ茶屋町店前交差点において交通安全啓発活動を行いました。「交通安全宣言文」「茶屋町小学校児童の絵手紙」「安全関連グッズ」等を通行のドライバーに手渡ししながら、安全運転を呼びかけました。



「茶屋町ウエルカム パーティー」

平成29年6月15日(木)、備南ふれあい会館で、子育ての悩み等の課題解決や新旧住民の交流の場作りを目的にウエルカム パーティーを開催しました。「歌とリズムのお姉さん」の司会で地域の子育て応援団体を紹介したり、「ぐらんま」倉敷自然育児相談所所長の村口裕美氏より日々の子育てに関する不安、疑問等に対話形式でのアドバイスや昔遊び「ぶんぶんゴマ作り」をして、120名の方が楽しみました。



村口裕美氏

